

新しい年へのスタート



発行所
平市田町75番地
常磐毎日新聞社
代表 2104

謹賀新年
昭和三十九年元旦
常磐毎日新聞社
従業員一同

「辰年の春」

きたさどゆきお
北郷雪夫

青竹を張つたような空
初陽がひかる ひかる
風がそよぐ そよぐ
元旦 それは新しい年
へのスタート

終戦後 生まれた辰年
の子ら
白い帽子に 白い運動着
白いライン上に立つ

みんなの頬はあかく
一せいに四肢が地を蹴
る

若い健康の躍動美
これこそ たくましい
日本のシンボルだ

ことしは辰年
オリンピックの年
大きくふくらむ夢
強くはつむ希望
走れ 走れ もつと走
れ

雄大な辰年

たいものである。

消防団恒例 出初め式

ことしは「辰」の年である。とほ十二支の第首目。昔の時刻の名で午前七時から九時。方角では東南東で俗に竜のこころをいう。辞典を引くと前記のような解釈である。

平市消防団恒例の出初め式は六日市内消防団員一千人が参加して行なう。当日は午前六時半に各分団は大蛇(タイシヤ)に似て背中に、毎に集合、午前七時から二、三、八十一のうらこ、頭の本の角が三分団員約五百人が子鏡倉神社あり、四足に五本の指がある。耳で無火災の祈願のあと午前八時か面はとも長く、口辺に大ひげが三十三米大通りで大和田消防長、あり、雲をおこして雨を呼ぶとい。腰倉団長による開団式、午前九時に公会堂本館で永年勤続者などのこのように辰年いな龍は雄大な動物であるが新しい年を迎えるに当り、我々人間も雄大な構想を四時から三十三米大通り南端でダルやつて一九六四年を意義あらしめマ落しを行なう。

飛躍の年を 迎えて

社長 鈴木喜政

年改めした吉野の朝は、この空に雲が舞ひ降り、どこに在りかわれども、晴ればれと新年を迎えた喜びが、湧きあがっているのを感ぜず。常磐地区の新産都市建設も新春早々には本指定が予想されるので今年建設の年といふことになりましよう。その第一歩を雄大な威勢の表現でもある「辰」年で迎えては、誠に幸先きよく、基幹産業の振興、それに関連する各種産業の飛躍も大いに期待されます。飛躍も地域民も本年こそ心を一つにして、新産都市の建設に邁進、辰年の幸運を逃がさないよう、年頭に誓いたいものです。



わが社は今年が創刊十五周年を迎えました。思えば浮沈の瀬戸に立つ苦難の道でもあったが、ようやく社の基礎も安定、新聞本来の軌道に乗ることができました。これ備えに愛読者各位の惜しみないご愛読、ご支援の賜と心から感謝申し上げます。

目このご愛読、ご支援に心懸けて、昨年末には増資をいたし、紙面の刷新を断行しましたが、更に本年は新春早々社内陣容充実をはかって、地域開発、発展のため与うかぎりの協力と報導の使命達成に全力を傾注する所存でございますので、旧に倍するご愛読、ご支援を重ねてお願い申し上げます。年頭のごあいさつでございます。

【写真】鈴木本社社長

明けましておめでとうございます

旧年に倍し一層のお引立てをお願い申し上げます 元旦

洋服の10カ月払い

サンキョウ
平市2町目 TEL. 2313

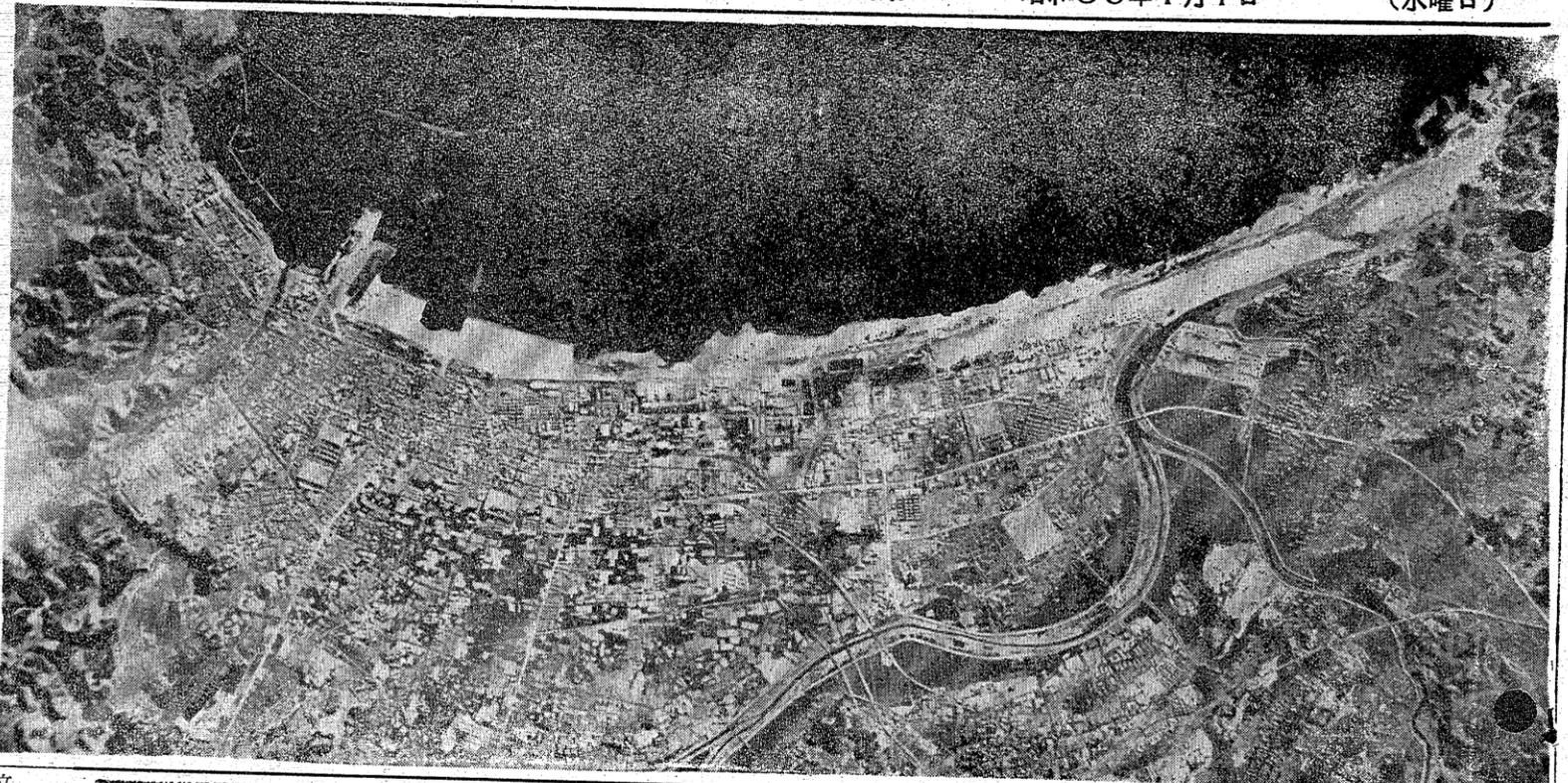


写真
新産業指定によつて石油コンビナートなど臨時工業地帯の中心になり、本県の表玄関に大きく変貌する小名浜港の航空写真

新産都市造り第一年 常磐地域の産業基盤整備の年へ

ついでには新産都市づくり、おおもとの第一歩を踏み出す年である。新産都市の指定を勝ちとつたと同時に、常磐地域十四市町村の間に共同意識が醸成されてきた。それはもともと、地域の高度開発によつて、都会と地方の所得格差をなくすため、公共投資の強力な意思に浴したからである。それは常磐地域が第一に

関東経済圏と至近距離有

常磐地区は、伸びやかでも伸びられない限界に達した関東経済圏と未開発の東北地方の接点する最も至近点に位置している。自然的にも、夏井川、夏井川が豊富な水量を保持している。工業地帯として敷地も豊富である。白紙に線を引くことのできるような困難が少ない。人間的なものでなく、自然の調光、休養、娯楽地など健康な生活環境に恵まれている。エネルギー革命の高潮に襲われて、ヤマからは多数の職業者を出したが、石炭をはじめ石灰石、天然ガス、銅をはじめ地下資源は多量に開発はこれからである。山林原野が石炭の六八%を占める土地の利用度が低いのが、これからの開発に期待がもたれている。

土地利用の基本方針と構想

小名浜港をポイントに放射線状の道路と二級国道のバイパス建設によつて、常磐工業地帯を連結し、増大する多量の交通量が処理される。五市の都市機能を分離し、平市を行政、教育、文化、商業の中心に、内郷市及び常磐市はバンドタウンに、磐城、勿来市は工業の中心地として地域の一本化も実現される。

工業製産出荷目標も上昇へ

前記大手場のほかには、海産物の進出によつて、化学工業は石油化学工場を進出を約束されている。県内各種企業体が石油化学に転移される。また東北の石油化学工業の進出は、関係事業を更に発展へと導くことになる。

平市名刺 平市恒例の新年名刺交換会

刺交換会は、毎年前十時から市公会堂本館で開

あけましておめでとうございませう

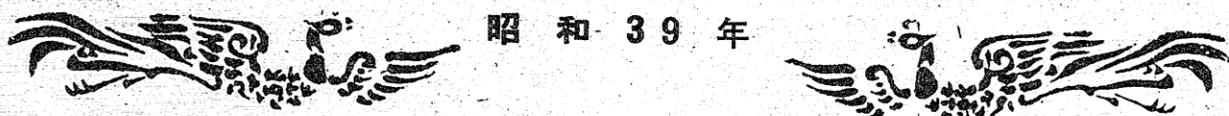


楽しいお買物の散歩道
大黒屋
平市 電話2191-5

- 感謝
- 一、皆様の暖かい愛情と深きお引立てに育てられ、楽しく衣料の百貨店大黒屋として誕生してから、三年、今に前進の新しい年を迎え、皆様、只々この高感に感謝あるのみでございます。
 - 二、旧年中は種々不届きの点、深く反省致しまして連日のご来店をいただき、誠にありがとうございました。御座りました。厚く御礼申し上げます。
 - 三、本年はご暖かきご支援にお報いするため、御座り、お客様のため、この基本を深く確認して頂き、全社員協力をこめて、皆様の楽しいお買物の散歩道の完成前進に精進努力を積み重ねて行かさせていただきます。
 - 四、何卒本年もの大黒屋の百貨店、平本店、マリオンセンター、磐城店、勿来店を深き愛情と暖かなの吐声のもと、御支援を、ごまかせず、深く深くお願い申し上げます。



1日は休ませていただきます



紙上名刺交換会

程塚建設工業社長

程塚公

ユタカ建設工業株式会社

左藤房次

平市議会議員

石山一治

スピード自動車商会
取締役社長

大内弘

關東
松村病院

松村亨

株式會社
川地和組
取締役社長

川和次一

平市長

大和田弥一

橋本小鳥店

橋本徳治

平商工会議所会頭

山崎賢助

四倉町長

鈴木常松

矢吹電話工業株式会社
取締役社長

矢吹一

蓮沼龍輔

平市議会議員

張口晴七郎

後藤医院

後藤金久

内郷市長

沼田一夫

斎藤医院

斎藤正雄

東洋酒販株式会社
取締役社長

杉田和太郎

平市議会議員

矢吹大一郎

内郷市議会議員

内林敏

常磐警察署長

沖田敏夫

常磐郵便局長

櫛引善一郎

常磐電信電話局長

牛田是

常磐市長

磯野清流

県議会議員

越田和文雄

県議会議員

高橋邦男

平市田町電二七〇六

市井茂

新田目病院長

新田目五郎

高久医院

高久孝

平市議会副議長

坂本昌博

魚市場専務

鈴木幸平

賀正



謹賀新年



取締役社長

野崎 喜八郎

皆様明けまして御目出度う御座います。本日皆様と共に昭和三十九年の輝かしい新春を迎えまして誠に御同慶に堪えません。日頃は皆様にご多大の御支援と御協力を賜り居り感謝に堪えません。

年頭に当り謹んで厚く御礼申し上げます。本年の日本はオリンピック開催と言う世界の焦点となり、新産都市の指定を受けた常磐地方は開発の展の脚光を浴びるに至りました。正に昇竜雲雨を得て珠を抱く瑞祥と存じます。辰年に当り、辰年生れの私にとつては感懐更に一しお深いものがあります。

バス事業に三十五年、一すじにつとめて参りました。私はここに認識と確信を更に新たに。交通事業の三原則を守り、重要地域の短絡直通系統の強化、常磐線光園の形成と地方交通に特に関産都市の建設に皆様と共に一段の努力を捧げ奉仕する覚悟で御座います。何卒本年も全幅の御高援を賜り度くお願い申し上げます。皆様の御健康と御多幸を祈念して年頭の御挨拶と致します。

営業内容

- 古河好間炭坑外事業
- 一般工作機械製作
- 一般土木建築請負業
- 古河好間炭磁生協経営

好間商工株式会社

スーパーマーケット二好

本社 福島県石城郡好間村上好間
電話 (平) 代五四九三番

二好店 平市四丁目(スーパーマーケット)
電話 (平) 五〇七八番

常磐交通自動車株式会社

- | | |
|-------|--------|
| 専務取締役 | 野崎 秀幸 |
| 常務取締役 | 芹沢 重雄 |
| 管理部長 | 野崎 理夫 |
| 常務取締役 | 野崎 夫 |
| 総務部長 | 川与 一郎 |
| 整備部長 | 鈴木 木タム |
| 取締役 | 鈴木 木タム |
| 取締役 | 後藤 藤 |
| 監査役 | 青木 天目 |
- 福島県平市藤川町三番地の一 電話(平)代表七一五二 弘メツ郎

1964年を駆ける

スピーデー自動車商会

取締役社長 大内 弘